

令和5年6月27日



株式会社ゆで太郎システム 御中

ゆで太郎夢基金
令和4年度充当報告及び令和5年度充当計画案



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

令和4年度に寄せられた寄付金 累計19,183,836円(令和5年3月末現在)

法人名	寄付日	寄付額
株式会社ゆで太郎システム	4月21日	1,430,041
株式会社ゆで太郎システム	5月19日	1,515,279
株式会社ゆで太郎システム	6月16日	1,603,736
株式会社オリエンタル商事	6月20日	5,102
コカ・コーラボトラーズジャパン株式会社	6月20日	57,032
セイブショウジ株式会社	6月28日	2,251
セントフーズ株式会社(ゆで太郎東北地区本部)	6月30日	374,126
サントリービバレッジサービス株式会社	6月30日	50,767
株式会社ゆで太郎システム	7月15日	1,606,982
株式会社ゆで太郎システム	8月17日	1,574,186
株式会社ゆで太郎システム	9月15日	1,553,219
株式会社ゆで太郎システム	10月11日	1,511,384

令和4年度に寄せられた寄付金 累計19,183,836円(令和5年3月末現在)

法人名	寄付日	寄付額
株式会社ゆで太郎システム	11月18日	1,546,409
株式会社ゆで太郎システム	12月13日	1,464,335
コカ・コーラボトラーズジャパン株式会社	12月20日	72,183
株式会社オリエンタル商事	12月20日	6,079
セイブショウジ株式会社	12月28日	3,088
サントリービバレッジサービス株式会社	12月30日	61,731
株式会社ゆで太郎システム	1月26日	1,585,693
サントリービバレッジサービス株式会社	1月30日	351
セントフーズ株式会社(ゆで太郎東北地区本部)	1月31日	424,757
株式会社ゆで太郎システム	2月15日	1,355,365
サントリービバレッジサービス株式会社	2月28日	505
株式会社ゆで太郎システム	3月17日	1,378,860
サントリービバレッジサービス株式会社	3月30日	375

令和4年度 ゆで太郎夢基金による充当事業

事業分野	充当事業	充当金額
国内災害救護事業	①災害対応	7,183,836円
	②医療チーム【救護班】の養成	4,000,000円
	③地域防災セミナーの開催	2,000,000円
講習普及事業	④救急法等講習普及事業	2,000,000円
青少年赤十字事業	⑤教育現場での防災教育の普及	2,000,000円
社会福祉事業	⑥社会福祉施設の資機材整備	2,000,000円
	合計	19,183,836円

各充当事業の内容は、次ページ以降をご参照ください。

夢基金を次の事業に充当させていただきました。

■ 国内災害救護事業

① 災害対応(令和4年8月3日からの大雨災害)

令和4年8月、停滞する前線による大雨の影響で、北日本や北陸地方を中心に大雨特別警報が発令され、河川の氾濫や土砂災害が発生しました。

日本赤十字社は、本社災害対策本部の指揮の下被災地域へ医療救護班を派遣し、巡回診療による住民の健康観察や、避難所のアセスメント等を行いました。

医療支援とあわせ、ボランティアによる炊き出しや被害住宅の片付け、災害ボランティアセンターの運営支援など、被災者に寄り添った活動を行っています。



巡回診療を行う救護班要員(静岡県)

夢基金を次の事業に充当させていただきました。

■ 国内災害救護事業

②医療チーム【救護班】の養成

国内における自然災害は、近年、頻発化・激甚化・広域化する傾向にあり、また、昨今の災害対応では、災害医療コーディネート体制の充実や感染症対策の徹底、こころのケア活動の推進など、さらなる救護活動の強化が求められています。

こうした背景を踏まえ、今後発生が危惧されている大規模災害に対応するために、全国的に統一された救護員の育成・研修・訓練が求められています。

令和4年度は、標準的な研修教材の作成や、新たな研修プログラム・救護員の履修管理の見直しを行いました。



合同災害救護訓練(奈良県)

夢基金を次の事業に充当させていただきました。

■ 国内災害救護事業

③ 地域防災セミナーの開催

日本赤十字社防災教育事業(赤十字防災セミナー)は、東日本大震災など過去の災害の教訓を踏まえ、地域住民が自ら災害からいのちを守ることができるよう、全国で開催しています。

とりわけ、地域住民の防災・減災に関する知識・意識・技術の向上と、災害発生時の応急対応にあたるリーダー層の育成に主眼を置いています。

令和4年度は、グループワークによる災害頭上訓練を再開。
526回のセミナーを開催、受講者総数は19,971人となりました。



スポーツ選手、企業と住民による防災マップ作り

夢基金を次の事業に充当させていただきました。

■ 青少年赤十字事業

④教育現場での防災教育の普及

青少年赤十字では、学校教育の中で活動する強みを生かし、小学生・中学生・高校生向けの防災教材「まもるいのち ひろめるぼうさい」、幼稚園・保育所向けの「ぼうさいまちがいさいがい きけんはっけん！」の普及を続けています。

一例として山口県支部では、県内の青少年赤十字加盟幼稚園において、教諭と赤十字ユースボランティアが講師を務め防災教育に取り組みました。

防災に関し、「自分ごと」としてとらえることにとどまらず、周りに優しく伝えあう姿は、人道教育にもつながっています。



園児への防災教育(山口県)

夢基金を次の事業に充当させていただきました。

■ 社会福祉事業

⑤ 社会福祉施設の資機材整備

日本赤十字社総合福祉センター(通称:レクロス)の資機材を整備するために使わせていただいております。令和4年度に整備させていただいた資機材は以下のとおりです。

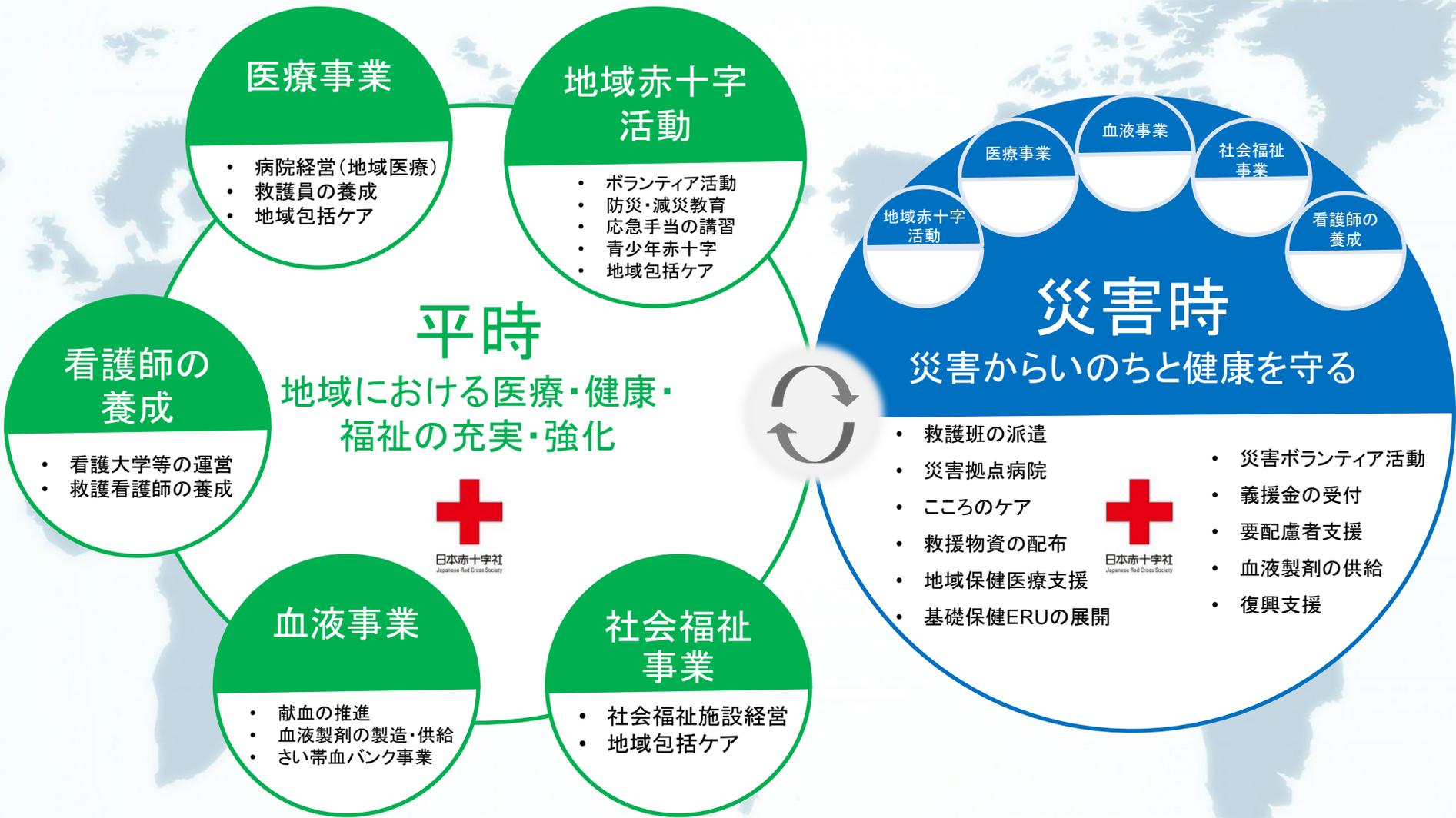


車椅子4台、電動ベッド1台、ストレッチャー2台、電動介護リフト1台、クッション7個

令和5年度 充当計画(案)

事業分野	充当事業	充当金額
国内災害救護事業	①災害対応	6,000,000円
	②医療チーム【救護班】の養成	4,000,000円
	③地域防災セミナーの開催	2,000,000円
講習普及事業	④救急法等講習普及事業	2,000,000円
青少年赤十字事業	⑤教育現場での防災教育の普及	2,000,000円
社会福祉事業	⑥社会福祉施設の資機材整備	2,000,000円
	合計	18,000,000円

【ご参考】日本赤十字社の事業の全体像



災害マネジメントサイクル全体への対応